

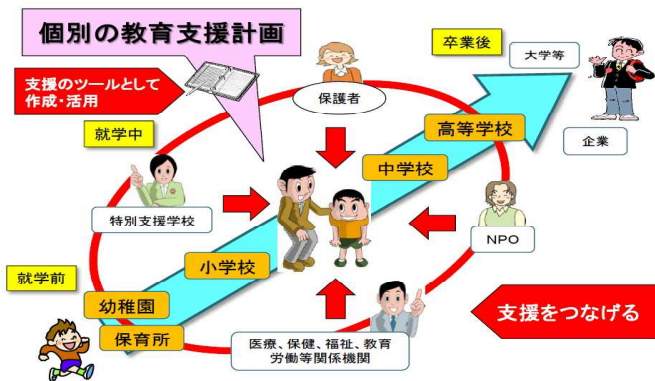
特別支援教育 Q&A

～「個別の教育支援計画」の活用～



Q 個別の教育支援計画を作成しましたが、活用の仕方分かりません。どのように活用すればよいのですか？

A 個別の教育支援計画は障がいのある子どもに関わる者（家庭、教育、医療、福祉等）が、子どもに関わる情報を共有し、教育的支援の目標や内容、関係者の役割等を計画するものです。活用のポイントを説明しましょう。



「個別の教育支援計画」で支援をつなげよう！（H24.7）
福島県教育庁特別支援教育課作成より

キーワード

一貫性・系統性のある支援体制

一貫性：子どもに関わる者が指導・支援に関する**共通の認識**をもつこと

系統性：幼稚園→小学校→中学校→高等学校→大学等へ指導・支援を**発展的につなげる**こと（支援は固定的ではありません。）

個別の教育支援計画活用のポイント

<保護者の理解>

- 子どもに関わる情報を保護者と共有しながら支援を進めるためにも、保護者に参画の在り方を丁寧に説明します。（障がい理解・受容、個人情報の取扱い等）

<校内支援>

- 個別懇談、学年会、校内ケース会議、校内委員会等で検討する際に活用します。検討した支援策を記入します。
- 加筆修正は新たなシートに記入するのではなく、以前の記載事項を残した上で行います。
- 支援の内容・方法を職員で共有し、指導・支援に当たります。

<関係機関との連携>

- ニーズに応じた支援の目標や内容を基に、関係機関との連携を広げます。
- 初めから、様式全ての項目について記入する必要はありません。連携が必要な関係機関が出てきた際に、随時加筆を行います。
- 関係機関を集めてケース会議を行う場合に活用します。（役割の明確化）

<交流及び共同学習の推進>

- 交流及び共同学習を推進する上での目的や意義、支援の内容・方法を記入します。

<次の学年や学校等への引き継ぎ>

- 支援の内容・方法を整理し、次の学年や学校へ引き継ぐ際に活用します。



子どもが自分の力を最大限発揮して生き生きと学ぶことができる支援体制を整えるために、個別の教育支援計画を有効活用しましょう！

引用・参考資料 「個別の教育支援計画」で支援をつなげよう！（H24. 7）
福島県教育庁特別支援教育課作成
「特別支援学校担任のためのハンドブック」（H24. 2）
岡山県総合教育センター作成